別記様式第1号

**令和５年度（第23回）「はごろも教育研究助成賞」**

**応募申込書（単年度）**

令和5年4月25日

公益財団法人　はごろも教育研究奨励会

理事長　後　藤　康　雄　様

学校・団体名　　静岡の未来を拓く会



代表者職・氏名　　代表　寺谷　正博

当校・当団体は、関係書類を添付して「はごろも教育研究助成賞」授与要項に基づき、

応募いたします。

記

　学校・団体の概要

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学　校　・  団　体　名 | フリガナ　　　シズオカノミライヲヒラクカイ  静岡の未来を拓く会  **※（　　　　　　　　）**ＴＥＬ090-9920-5467 | | | | |
| 所　在　地 | 〒420-0881  静岡県静岡市葵区北安東1-31-44 | | | | |
| 幼　児　数  児　童　数  生　徒　数 |  | 学級数 |  | 教職員数 |  |
| 会　員　数  団体のみ記入 | 56名 | | | | |
| 研究主題 | 変化の激しい時代の中で、様々な課題を抱えている静岡の教育を市民・行政・学校が一体となって課題解決に向かうシステム構築のための研究 | | | | |
| 担当者名 | 松村　隆年 | | | | |

**○学校・団体名の記入について**

**※（　　　　　）は、授与要項　４応募（１）応募要件　カの内容に該当する場合、キにより**

**記入する。**

別記様式第2号

**令和５年度（第23回）「はごろも教育研究助成賞」学校**

**教育研究計画書（単年度）**

学　校・団体名　　静岡の未来を拓く会



　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者職・氏名　　　寺谷　正博

１　研究主題

「変化の激しい時代の中で、様々な課題を抱えている静岡の教育を市民・行政・学校が一体とな

って課題解決に向かうシステム構築のための研究」

２　主題設定の理由

加速しつつある新しい時代を主体的に生きていく社会を構築していくためには、未来を担う子どもや若者の育成が極めて重要である。しかし、本市の教育の現状には次のような課題が山積している。

(1) 教育改革やそれを推進する教職員の意識改革の遅れ

(2) 不登校や子どもの貧困問題の増加

(3) 共生社会の構築に向けたインクルーシブ教育システムの推進の遅れ

(4) 一人一台端末やその家庭への持ち帰りなどICT教育の遅れ

こうした中、本会は、「子どもの未来は、私たちの未来　子どもの未来は、静岡の未来」を合い言葉に、静岡の教育について多様な人々の絆を通して、諸課題の解決に主体的に取り組む市民団体である。退職校長や現職校長、教員、保護者、地域住民、医師など様々な立場の会員が、「共生社会の構築」、「不登校」、「ICTの活用」、「主体的な学び」「幼児教育」、「子どもの貧困」、「主体的な学び」などの教育活動が抱える様々な課題を分析し、対策を考えて未来を生きる静岡の子どもたちのために、よりよい教育を実現することを目指している。

研究初年度の今年は、「市民・行政・学校が一体となって課題解決に向かうシステム構築」を研究のメインテーマとして取組み、「幼児教育」、「教育と医療との連携」、「外国にルーツをもつ子どもの支援」、「夜間中学」、「探究的学び」、「子どもの貧困」、「いじめ不登校」、「学校と家庭教育」、「地域の教育」などの小テーマを設け、月例研究会において課題分析や対策を考え、会員一人一人が自らの行動目標を設定する取組を行っていく。

　　 加えて、諸課題により困り感をもつ児童生徒や保護者などに対して、「相談会」を年4回程度実

施する。専門家や同じ立場にある保護者、支援事業者など多様なメンバーで共感的で相談者自身が

主体的に課題解決に向かえるような相談活動を行っていく。

　さらに、年度末には1年の取組や成果・課題を提言としてまとめ「市民フォーラム」を開催して

広く市民を招き、参加者が主体的に思考し、行動していく機会にしたいと考えている。

　このような活動を展開していくには、「市民・行政・学校が一体となって課題解決に向かうシス

テムの構築」が必要不可欠である。そこで、本年度は、システム構築に向けて、市民への広報、学

校・行政との協働的活動、ICT活用による連携・相談システムなど重点を置いて研究を深めていき

たいと考える。

市民団体との研究としては、他に例のない取組であり、多くの高い壁が予想されるが、「静岡の子どもたちの未来を拓く」ため、貴法人の助成を賜り、研究を推進していきたいと考える。

３　研究計画

　(1) 研究期間（応募は単年度だが継続研究計画の場合は必要事項を記入する。）

「継続計画　３年間（令和５年４月～　令和８年３月）のうち、本年は　１年目」

　(2) 研究計画の概要（研究の全体計画の概要を記入する。）

月例研究会や相談活動、市民フォーラムなどを通して、「静岡の教育を市民・行政・学校が一体となって課題解決に向かうシステム構築」の在り方や方法、システムについての研究を推進する。

1. 月例研究会

毎月定期的に会員や興味関心のある一般の方が集まり、テーマごとに専門家などの話題提供者を招き、グループワークを行い、課題分析、対策検討、自己行動目標設定など通して、各自が実施可能な取組に向かう機会とすると共に共有化や合意形成のプロセスについて研究する。

1. 相談活動

一般市民から相談者を募り、会員や関係者を対応スタッフとして相談会を実施する。相談者が主体的に課題解決に向かえるような相談を行いうと共に、市民が抱えている教育に関わる課題を把握する。加えて、共感的な関係を形成するためのコミュニケーションスキルについて研究する。

1. 市民フォーラム

年度末に会員及び一般市民から参加者を募り、1年の取組や成果・課題を提言としてまとめ、参加者が主体的に思考し、行動していく機会とする。加えて、広報の仕方やICT活用方法に

ついて研究すると共に市長を招致するなど市政への反映させるための方策を考える。

1. ICT活用を含めたシステムづくり

上述の活動などを通して、より有効な広報や相談のシステム構築について研究する。

　(3) 本年度の研究推進の具体的方策（本年度の研究計画・推進の具体的方策を記入する。）

1. 定例会 ◆月１回程度、小テーマを設け、話題提供、グループワークを実施（※１）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ４月 | 幼児教育の現状と未来 | 10月 | いじめ・不登校の根源と支援 |
| ５月 | 医療と教育　連携のあり方 | 11月 | 保護者から見た学校と家庭教育 |
| ６月 | 外国ルーツの子ども支援 | 12月 | 地域で育てる　地域から育つ |
| ７月 | 学びなおし　夜間中学 | １月 | 市民フォーラムに向けて |
| ８月 | 自己探求　自分をみつめる | ２月 | 市民フォーラム |
| ９月 | 子どもの貧困 | ３月 | 年度の振り返り |

1. 相談活動

◆対面型相談活動　年４回、相談テーマ設け、相談者を募り相談会を実施する。（※２）

・７月　いじめ・不登校（児童・生徒、保護者対象）

・８月　ＧＩＧＡスクール構想（教職員対象）

・10月　特別支援教育（保護者。教員対象）

・12月　主体的な学び、学級・学校経営（教職員、館Ｒ色対象）

◆インターネットを活用した相談事業

インターネットで相談者を募集し、ネット上で相談会を開催する。

1. 市民フォーラム

年度末に会員及び一般市民から参加者を募り、1年の取組や成果・課題を提言としてまとめ、参加型フォームを実施する。（※３）

1. ICT活用を含めたシステムづくり

　本年度内に各活動で得た知見を活かし、多くの人が利用しやすいホームページへのグレードアップや相談システムに構築についてICT事業者からのアドバイスをいただきながら、随時研究を進める。（※４）別記様式第5号

**令和５年度（第23回）「はごろも教育研究助成賞」**

**研　究　費　使　途　計　画　書**

学校・団体名　　静岡の未来を拓く会



代表者職・氏名　　　寺谷　正博

＜研究費の使途計画＞

①　各年度の研究に必要な材料費、資料費、視察費、講師謝礼、雑費等を記載する。ただし、備品の

購入を目的としない。

1. ５万円以上の必要とされる経費はできるかぎり、具体的に記載する。

③　使途金額は、教育研究計画書と研究費使途計画書に、(※１)、(※２)と記入し連動させる。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究期間 | | 支出予定項目 | 支出予定金額 | 備　　　　　　考 |
| 単　年　度  計　　画  計　画 | | 会場使用料(※1)(※2)  (※3)  講師謝金(※1)(※2)  (※3)  インターネットシステム研究開発費(※4)  印刷費(※1)(※2)  (※3)(※4)  消耗品費(※1)(※2)  (※3)(※4) | 56,000円  10,5000円  300,000円  20,000円  19,000円 | 月例研究会(市民活動センター)  2,000円×9回=18,000円  相談会(市民活動センター)  2,000円×4回=8,000円  市民フォーラム(会場未定)  30,000円  月例研究会　45,000円  相談会　20,000円  市民フォーラム　40,000円  専門業者委託代 300,000円  チラシ、ポスター等印刷代  印刷用紙、付箋等購入費 |
| 合計 | ５００，０００円 |  |
| 複  数  年  度  計  画 | １年目 |  |  | り |
| 合計 |  |  |
| ２年目 |  |  |  |
| 合計 |  |  |
| ３年目 |  |  |  |
| 合計 |  |  |

＊２年間の継続研究の場合は、３年目の記入は不要。